

令和3年10月吉日

静岡県作業療法士会  
県士会会員各位

## 第2回現職者共通研修（テーマ8～10 事例報告と事例研究、事例検討）

### 参加、座長募集のご案内

静岡県作業療法士会 教育部  
教育部理事 秋山尚也  
西部地区代表 萩原正寛

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和3年度現職者共通研修会を以下の通り開催しますので、ご案内申し上げます。事例報告会については、今年度より地区開催からオンラインでの合同開催に変更し新しい形で運営をさせていただきます。この事例報告会は、日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は「事例報告と事例研究（事例検討方法論）」と「事例検討」、発表者は「事例報告」が履修できます。

また事例報告会にて、より多くの先輩作業療法士の方々の参加により、作業療法全体の質の向上にも繋がると考えますので、ぜひ1人でも多くの先輩作業療法士の参加もお待ちしております。

謹白

—記—

1. 開催日：令和3年12月5日（日）

2. 開催方法：ZOOM

<使用上の注意点>

安定したネット環境を確保して下さい。パソコンでの参加を推奨します。

ビデオは基本的に off にして下さい(回線の負担が大きくなってしまう可能性があるため)。

ZOOM は質疑応答を除きミュートにてご参加下さい。

参加者名は 発表グループ（A or B）、会員番号、名前を記載して下さい

例（A 1234 静作太郎）。

### 3. プログラム

#### 第1部 テーマ8「事例報告と事例研究」 ⇒申し込み：グーグルフォーム

8:40～9:05 受付  
9:05～9:10 事務連絡  
9:10～10:40 「事例報告と事例研究」  
講師：鹿田 将隆 氏（常葉大学）

**※参加費：1人1000円（振込方法・期限は下記参照）**

#### 第2部 テーマ9.10 事例報告会 ⇒申し込み：グーグルフォーム

10:20～10:50 受付 参加費：無料  
10:50～11:00 事務連絡  
11:00～12:30 テーマ9.10「事例検討」「事例報告」  
12:30～ 事務連絡

発表者が12名のため、ブレイクアウトルームで2つの部屋（AグループとBグループ）に分かれ、事例報告会を開催いたします。申込時に、参加希望グループを選択して下さい。発表者及びグループ分けは、下記（別紙）を参照して下さい。開始時に希望したグループの変更は可能ですが、事例報告会実施中に部屋の移動はできませんのでご了承下さい。

### 4. 座長募集について（認定作業療法士に限る）

事例報告会開催において認定作業療法士を対象とし座長の募集を行ないます。理由としては、認定作業療法士更新要件の一つとして、「作業療法の啓発に関する社会的貢献（他団体事業への参画、協会・士会の事業、原稿執筆、座長、論文査読など）」と記載されています。社会貢献の機会を増やす目的とし教育部として事例報告会での座長の機会を設定させて頂きました。座長の選定については、教育部内で検討し決定したいと思います。

※申し込み方法：グーグルフォーム内

※座長募集人数：2名

座長決定：11月20日前後に応募者全員に結果を通知いたします。

座長の先生には事前に抄録を添付致します。

5. 申し込み方法（テーマ8, 9, 10、座長）

グーグルフォームにて

<https://forms.gle/1CGmBhLR8rDwSKJb9>

〆切：11月19日（金）



※開催 1～2 週間前に申し込み者に対し、ZOOM の URL 等をメールにて送信させていただきます。

事例報告会は無料ですが、参加希望者は必ず申し込みをお願い致します。

※第1部の「事例報告と事例研究」の参加者は、振込が確認できない場合、研修会履修とみなされませんのでご注意ください。

※11月28日（日）になっても、メールの連絡が来ない場合は、HP掲載の開催案内に掲載されている静岡県士会教育部 ([otshizukyou@yahoo.co.jp](mailto:otshizukyou@yahoo.co.jp)) までご連絡ください。（前回は、メールが届かない会員が数名いました。必ずメールの受信を確認し、連絡がなければメールにてお問合せ下さい）

6. 振込方法

・振り込み先：静岡銀行 本店営業部 普通 1789111

（名義）公益社団法人 静岡県作業療法士会教育部生涯教育班 西部 代表 秋山尚也

・支払い方法は、個人名義で振り込みをお願いします。ただし、法人名義でまとめて振り込む場合がありますら、振込日と参加者名をメールにて必ずご連絡下さい。

（教育部の通帳記帳において名前までの確認ができないため）

・振込人の欄には、会員番号・氏名の順で入力をお願いします。

・金融機関での振込の際に生じる振替払込請求書兼受領書を領収書とさせていただきます。

・基本的に教育部から領収書の発行は致しません。しかし、施設先でどうしても県士会教育部からの領収書が必要な方がいましたら事前にご連絡下さい。

・振込手数料は申込者様自己負担でお願いします。

・振込期間：令和3年11月1日（月）11月19日（金）

## 7. その他：

### ・事前振込後のキャンセルについて

当会の主催する研修会への参加をキャンセルされる場合、事前にお振込み頂いた参加費については原則として返金をいたしません。ただし、キャンセルの連絡を事前に主催者へ行い、やむを得ない事情や正当な理由がある場合返金の検討を致します。返金時の手数料はご負担をお願いいたします。

・協会及び県士会へ入会されていない方は、必ず入会手続きを済ませて下さい（参加は会員に限ります）。受講後、協会に申請をしますので協会会員番号を取得されていないと履修反映ができません。

・当日何か不具合等ありましたら県士会事務局まで電話にてご連絡下さい。

（当日メールではタイムリーに対応できないため）

TEL：054-266-6561 （研修会当日のみ）

対応時間：8:00～13:00

※事前の問い合わせについては下記メールアドレスまでご連絡下さい。

・次回は令和4年2月4日（金）（平日夜間開催）を予定しております。

テーマ：9～10 事例報告会のみ開催

開催方法：ZOOM

## 8. 問い合わせ先

静岡県作業療法士会

教育部 西部地区担当 萩原正寛 宮野真伍

メール：[otshizukyou@yahoo.co.jp](mailto:otshizukyou@yahoo.co.jp)

..... <Aグループ> .....

- ① 「感覚刺激を入れることで朝の会に参加することができた一事例」  
○田村 萌弥 氏 ( NPO 法人 むく) SV:伊藤 信寿 氏
- ② 「両側前頭葉損傷を呈した事例に人間作業モデルスクリーニングツールを用いて役割・関係性に着目し易怒性が軽減した事例」  
○日高 達範 氏 ( 中伊豆リハビリテーションセンター) SV:未定
- ③ 「直接的アプローチを中断し、環境調整・余暇活動に着目して介入し自立度の向上を認めた事例」  
○東川 裕輝 氏 (中伊豆リハビリテーションセンター) SV:小澤 留衣奈 氏
- ④ 「重度片麻痺患者の ADL 介助量軽減へのアプローチ  
ーOTR と患者の共通目標達成に向けてー」  
○木村 綾花 氏 ( 伊東市民病院) SV: 木島将吾 氏
- ⑤ 「高次脳機能障害により運転再開が困難であった患者へのアプローチ  
ー社会的役割を失わないためにー」  
○松浦 菜月 氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV:秋山 尚也 氏 山中 美月 氏
- ⑥ 「"したい"を"できる"に変える ー多職種連携により希望するセルフケアが自立した女性患者への関わりー」  
○中村 滉平 氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV:安間 真理子 氏

..... <Bグループ> .....

- ① 「長男家族との同居予定により IADL、役割の獲得を目指した骨盤骨折を呈した事例」  
○清水 浩太 氏 (すずかけヘルスケアホスピタル) SV:佐野 哲也 氏
- ② 「環境変化による BPSD の軽減が図れた作業療法介入」  
○北村 直人 氏 (遠州病院) SV:小坂 幸子 氏
- ③ 「高次脳機能障害を呈した事例に対しての独居生活への支援 ー調理訓練を通してー」  
○牧田 香穂 氏 (リハビリテーション中伊豆温泉病院) SV:林 正春 氏、高島 美幸 氏、内田 岳 氏
- ④ 「復職に向け課題志向型アプローチのコンセプトを基に介入した事例」  
○山田 篤史 氏 (リハビリテーション中伊豆温泉病院) SV:金子 智治 氏
- ⑤ 「退院時のイメージと目標を共有することで時期に応じた退院支援を行えた事例  
- 作業選択意思決定支援ソフト (ADOC) を使用して - 」  
○高野 玲奈 氏 (NTT 東日本伊豆病院) SV:平尾 和基 氏
- ⑥ 「橈骨遠位端骨折による観血的整復固定術後に外来作業療法を実施した症例について  
ーコロナ禍における外来作業療法ー」  
○石井 大輔 氏 (沼津市立病院) SV: 芝田 玲美 氏